



脳神経外科専門研修プログラムの魅力

上野 浩太 脳神経外科 助手

2018年3月 弘前大学卒

脳神経外科専門研修プログラム 2020年度開始



私は卒後、青森市民病院で初期研修を行い、後期研修は弘前大学医学部附属病院の脳神経外科専門研修プログラムを選択しました。今年度で大学病院5年目になります。私は例外的ですが、基本的に最初の1年半は大学病院で、そこから半年毎に関連施設をローテートしています。

専門研修で大学病院を選択した理由は、何といたっても症例の豊富さです。脳神経外科を選択してまず目指すのは脳神経外科専門医の取得です。脳神経外科の領域は膨大で、脳血管障害や脳腫瘍、外傷、小児、機能、脊椎・脊髄など多岐にわたります。専門医取得には全分野の経験が必要なため、その経験ができる点に魅力を感じます。しかし、大学病院も全分野の専門家がいないわけではないので、厳密には全分野は経験できませんが、斉藤教授のお力添えで県外の専門家のいる施設で経験が積めるため、その点も魅力です。

実習生に「脳外科ってどう思う？」と質問すると、答えは「難しそう」「一番忙しい」がほとんどです。正直、そのイメージは否定できません。しかし、それ故に興味があるのに脳外科以外を選ぶのはもったいないです。なぜなら医師として働く上で興味に勝る動機はないからです。脳外科は難しく忙しい、「だからこそ」やりがいを持ってやれると考えてほしいです。興味のある方はまず一度見学に来てみてください。忙しいだけで終わらない脳外科の魅力や、脳外科医それぞれの仕事との付き合い方をお見せいたします。お待ちしております。



検査で後輩の指導をしている様子